

三十四 天王寺商業

大阪天王寺商業学校長下河内十二蔵先生が、昭和十年ロンドンに行かれ、ピットマン式速記を中心とした実業学校を見学されたことがありました。その当時、ピットマン式速記を中心とした実業学校が、ロンドンに十数校あったそうですが、その学校では職員、生徒全部がピットマン式速記を知っているため、伝票まで速記で書いてあったということでした。先生はそれを見られ、「ようし、日本に帰ったら自分の学校をピットマンスクール、ピットマン校にするぞ」とお思いになって帰られたのだそうです。そのため私が行くと明朝から試験というときでも、せつかく来たから講演しなさいといって講演させていただいたのです。それほどだったのでこの学校の速記部は非常に盛んで上手になり、昭和六年、第一回全国男子中等学校中根式速記競技大会で優勝した羽間乙彦さんは、この学校の生徒でした。羽間さんは卒業後、速記者として毎日新聞に入社（最後には編集局次長）、「企業の森」といって八幡製鉄所とか、日立製作所とか、日本の代表的企業界を回り、実に二年間、七百二十回、新聞に連載されたものでした。インタビューするときは中根式をフルに使ったといつて、三十冊ぐらいいも速記で書いたノートを見せてもらったことがあります。現在は有名人の伝記や経済に関する著述に没頭されています。また第二回大会に二年生で参加し、二位になった伊藤淳巳さん（経済学博士、大阪市立大学教授）も同校速記部員でした。